

6、7月号

鹿追町発達支援センター

すこやかだより



令和8年6月1日（月） 文責：三田村

木々の緑も鮮やかになり、夏に近づいていますね。気温が高かったり低かったりと差があることから、体が疲れ体調を崩しやすくなりますので、体調変化に気を付けて過ごしてほしいです。

世界・国内ではしか（麻しん）が流行しています。北海道でも感染が確認されており、感染拡大が懸念されているようです。はしかは感染力が非常に高く、空気感染・飛沫感染・接触感染で広がります。高熱、目の充血、全身の発疹などが主な症状です。感染力が強いため疑わしい症状がある場合は、必ず事前に医療機関へ連絡し受診をした方が良いでしょう。こどもはワクチンの定期接種（2回）を受けているようですが、大人は定期接種を受けていなかったり、1回しか受けていない世代（特に1962年～1990年生まれ頃）は抗体が不十分な可能性があるため、過去の記録が不明な場合は医療機関で抗体検査を行い、抗体がなければ予防接種を検討すると良いでしょう。十分な睡眠と栄養で免疫力を高めましょう。

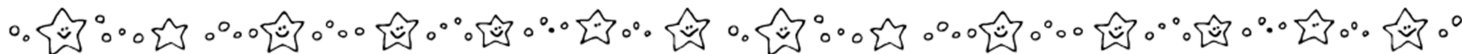


新年度が始まり2ヶ月が経ちました。新しいグループでの療育にも少しずつ慣れ、活動を楽しんでいる様子が見られます。

小学生はソーシャルスキルトレーニングやパフェ作りの療育に取り組み、場面の認知や自分のことについて考えて書いたり、長いヘビをつくる『ヘビゲーム』のカード遊びを楽しんでいます。カードを引く際に友達の名前を呼び「どうぞ」と回し合い色を合わせながら、みんなで協力して楽しんでいます。長いヘビができるとみんなとても喜び「またやりたい！」と言っていました。パフェ作りではどうやって順番を決めたら良いか話し合いながら、少しずつ友達を意識して関わろうとする姿も見られます。

幼児さんは緊張している様子も見られますが、名前を呼ばれると「はい」と返事をしたり、お父さん・お母さんに三輪スクーターや段ボール車を引っ張ってもらい楽しく遊んでいます。コーナー遊びではジュースやパフェをつくり「はいどうぞ」と少しずつやり取りをしながら楽しんでいるところです。

引き続き、各関係機関と連携を取りながら、お子様が楽しんで療育に取り組めるよう関わっていききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



《 受給者証について 》

6月・7月が誕生日のお子さんは、受給者証の更新シールがご自宅に届きましたら、お手持ちの受給者証に貼っていただき、発達支援センターへご提出ください。シールの貼り方がわからない時は、職員にお声かけください。

相談支援事業所（保健福祉課・かしわのもり）を利用している方につきましては、誕生月頃に担当者会議が行われます。担当の相談支援事業所より連絡がありますのでよろしくお願いいたします。

《 お願い・お知らせ 》

ニュースでは6月から気温も上がりはじめ、早い時期から熱中症警戒アラートが出るかもしれないと予想されております。

小学生は歩いて来所していただいておりますが、「**熱中症警戒アラート**」が出た際にはお子さんの安全管理のため、保護者の方の送迎ができる場合のみの利用とさせていただきたいと思っておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。